未来工学研究所のこれからの基本方向

平成17年4月1日

1.世界の中の日本のあり方と日本の未来社会における課題を探求する

① グローバルな人口、エネルギー･環境問題の中で、新しい文明論の模索、国の安全保障問題等の科学技術をめぐる諸問題の国際戦略を多角的に研究し、世界の中の日本のあり方を考える。

②少子高齢化に向かう日本の未来社会の中で、医療や福祉等、科学技術に期待される役割や、文化を含む人文科学と技術との融合、技術の社会的影響や社会の受容性、ニーズとの整合等技術と社会の関わり方を追究し、ソフトサイエンスの進展に貢献する。

2.よりよい科学技術システムを構築するための科学技術政策･戦略を考える知の集団となる

知識の生産プロセスとしての、イノベイティブな科学技術システムの構築が求められる中、資金･組織･人材に関する諸課題の分析･評価等に、政策シンクタンクとして知恵とネットワークを活かし、今後の国の技術政策、企業の技術開発戦略に貢献する。

3.未来技術についての総合的情報バンクの構築を目指す

情報通信技術を始め、今後の展開が注目される技術に関する情報の収集整理を行い、実現や発展の予測、経済社会的影響の分析する総合的情報バンクを目指す。